

下郷中 PTA 会報

令和元年度
前期
第91号
編集発行 下郷中学校
父母と教師の会
編集発行 会長 星 学
編集発行 広報委員会

- P T A 会長より 二面 ○ 私の通学路 四面
- 校長より 二面 ○ 新しい先生方より 五面
- 各学年より 三面 ○ 各部活動より 六・七面

今年の新入生

一年生の皆さん、新しくPTAの
会員になられた皆さん。
これから大いなる活躍を期待しています。



祝 入学式

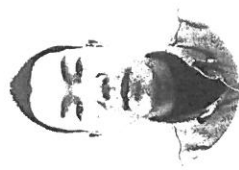
1年1組



祝 入学式

1年2組

変わらないこと



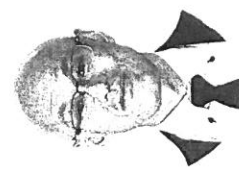
PTA 会長
星 学

今年度より P T A 会長
を務めさせていただいて
おります。平成三十一年
度として活動をスタート
しましたが、五月一日よ
り元号が令和へと変わり、
令和元年度として新たな
スタートを切りました。
子どもたちにおいては、
五月八日に行われました
郡中体連陸上競技大会で、
十七年振りと成る「男女
総合優勝」を獲得するな
ど、活躍が光っておりま
す。競技に出場した選手
だけでなく、一丸となっ
て応援する姿も素晴らしい
感動的でした。

また、各部活動の郡中
体連、全会津中体連競技
大会も行われ、県大会へ
の出場を決める生徒も出
ております。大会が終わ
るたびに、玄関に貼りだ
される入賞者が書かれた
短冊が増えていくのが嬉
しく、子供たちにとつて
も励みになると思います。
これから、AI（人工知能）
や VR（仮想現実）の技術
がさらに進化し、将来的
には、生活環境が大きく
変わる世の中が訪れるで
しょう。AI に関する記事
を読んでいると、「人間に
しかできないのは感動す
ることである。」と書かれ
ていました。正にその通
りだなと感じました。ど
んなに時代が変わっても
自分の目や耳を通して感
じ、心を動かされること
は変わらないことだと思
います。私も、子供たち
が頑張っているその一瞬
一瞬が一生に一度だと捉
え、感動的な場面に立ち
会えるように、出来る限

り足を運びたいと考えて
おります。
最後になりますが、保
護者の皆様には、日頃よ
り P T A 活動へのご理解、
ご協力をいただきまし
て誠にありがとうございます。
何かとお忙しいとは思
いますが、今後とも、
学校行事や活動への協
力をよろしくお願いいた
します。

誰学校のためにあるのか

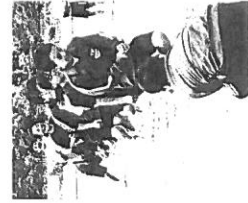


校長
小林 稔

平成19年に新米教頭とし
て下郷中学校に赴任し、生
徒からも職員からも名前を
呼ばれず、役職名で呼ばれ

るようになって以来12年が
経つ。職員室で生徒から「○
先生」と名前付きで呼ば
れる先生方を羨ましく思う
こともある。
昨年、平成四年度卒業の
担任した教え子の同級会に
参加する機会があった。男
性の前厄で、厄払いを兼ね
ているという。「こぼし」
（当時はこう呼ばれていた）
は「いつも怒つてばかりい
たよね」とか、「おつかな
すぎて、今だつたらクビだ
よね」とか、散々にこき下
ろされ、若き日の過ぎた
指導を恥じつつも、当
時の思い出話で大いに盛り
上がった。先生と生徒とい
う垣根がなくなった楽しく
も教師冥利に尽きる一時で
あった。
学校は、子供と大人が
「一緒の空間に存在する不思
議な職場である。また一方
で、何も生産することのな
い「教育」を売り物にする
職場でもある。「先」を見
据えて「今」を指導し、そ
の教育により、「自立した

日本人」としての基礎を培
うことが使命でもある。同
級会は「自立する日本人を
育てることができたか」を
確認する場であるのかもし
れない。
教職に就いて三十五年、
校長になって三年目を迎
え、日々様々な判断に迫ら
れるが、その判断は「①生
徒のためか、②緊急性はあ
るか、③保護者や地域のた
めか、④職員のためか」の
順番で考えることにしてい
る。まず「Studenten
first」（スチューデ
ント・ファースト）を、
そして「学校は誰のために
あるのか」を常に意識して、
二度目の勤務となった下郷
中学校のために、前回以上
に頑張ろうと思う今日この
頃である。



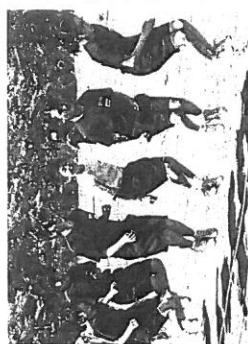
各学年より

ひより ひよりの個性

一学年委員長

渡部 芳博

新一年生も入学してから、早や三か月が過ぎた。四月当初は、真新しい制服のせいか、まだ何となく小学生の雰囲気が残っていたように感じたものだ。しかし、そんな我が子らも、部活動が始まって帰宅の時間が変わり、身長や体格も変化を見せ始めたためであらうか、「中学生になつたんだな」と改めて感じる今日こ



の頃である。

さて、入学式の式辞の中で、小林校長先生からの言葉がとても印象的であった。それは、昭和初期に活躍した童謡詩人、金子みすゞの詩「わたしと小鳥と鈴と」の二節「鈴と、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。」である。黄、自分も小学校の教科書で見たような記憶がある。

小動物の「小鳥」、人間の「私」、モノの「鈴」。それぞれの特徴（＝「違い」）を表しながら、「違っていい」という。

下中は、町内三校の小学校が初めて一緒になる学校。学年は二クラス（私が通った当年は四クラスだった。）しかないが、みんな各々の個性の塊だと思う。それは身長や体格といった見かけだけでなく、学習スタイルや部活動、趣味や興味関心。それぞれ違って当たり前なのだ。大切なのは、それをこれからの中学校生活でどう活かしていくのか。入学式の校長先生からの言葉を改めて思い返し、私たちが親は手をかけるだけでなく見守り育てる必要があると感じている。

子供たちに 思ふこと

二学年委員長

星 まゆみ

思春期という多感な時期を迎え、親も戸惑うこともありですが、学校行事や部活動、学校からの通信をみて子供たちの活躍している姿に感動させてもらっています。子どもたちは勉強に部活動に忙しい生活を送っています。自身自身の能力を全力で発揮し、自信をもって頑張っている姿はほしいです。

これから先、たくさんの人と出会い、つながっていく中で大切なことは自分ばかりでなく、周りにも気を配ることだと思います。

相手の立場になり、思いやりの心を持って行動することが大切です。思いやりの心は学校生活や家庭内、友人関係や部活動でのチームワークなど、いろいろなところで必要なことである。それが信頼関係につながり、人間関係をスムーズなものにしてくれると思います。

下郷中学校で過ごす三年間が楽しく充実した学校生活と

なるように先生方の温かいご指導をいただき、私たち保護者は子供たちをサポートし、応援していこうと思います。

ひより

三学年委員長

渡部 貴人

何故勉強しなければならないのか。そう訊かれた大人はよく「自分（あなた自身）のため」と答える。要するに勉強をして、進んで、仕事について自立した生活を送れるようにということだろう。できれば安定した収入を得て、できれば「稼げる」仕事に就いて、将来が安心ならば良い。そんなことを思いながら私たちは子どもたちに勉強の必要性を訴えがた。政治、



経済、環境、あらゆる分野で不穏なニュースを耳にするからこそ、人をあてにせず自分のことを考えて生きていかなければという発想はごく自然だ。しかし本当は「学ぶことは世のため人のため」と子どもたちに伝えたい。みんなが自分のことしか考えず、自分の利益ばかりを求めてしまつたら世界は地球はどうなるか。現在の日本の教育制度において中学生は高校受験という現実の前に「自分のために勉強する」ことができれば立派な生徒だが、できることなら、なかなか心に響かないことは承知の上で子どもたちに「世のため人のために学べ」と言いたい。

新聞のある投稿記事で三浦綾子さんの小説「続米点」から「一生を終えてのちに読むのは、われわれが集めたものではなく、われわれが与えたものである」という一節を引いていた。これからの時代を生きる子どもたち、強い体と心で人に優しく、社会にも優しく。ユーモアも忘れずに、言うのは簡単だから言っておく。

新しい担任になった先生たち

①出身地 ②担当教科 ③座右の銘 ④この仕事を選んだ理由



小林 稔

四月に南会津中学校から赴任いたしました。校長の小林稔と申します。十数年前中に二度目の勤務になりました。

①会津若松市内の出身です。西若松駅の周辺が遊び場でした。

②免許教科は保健体育です。授業をしなくなつて随分経ち、昨年度内球技大会で久しぶりにバスケットボールの審判をしたら、足が腫れりしりそうでした。

③座右の銘は「涙と汗は他人のために流せ」です。嬉し涙をたくさん流すことができれば、日々汗を流すように、冷や汗は嫌ですが）ようにしたいです。そのため、

普段から心がけていることは「親切・丁寧・迅速・確実・熟慮・断固」です。

④運命だつたと思います。理由として考えられるのは、高校の部活の先生が体育の先生で憧れたことと、進学した大学が体育の教員養成系だつたので潰しが効かなかったことでしょうか。バブル全盛期の頃に教職に就きましたが、民間に就職した同級生の給料やボーナスの額を聞いて愕然としたことを思い出します。しかし、教職を選んで生きてきた人生に一片の悔いもありません。



岩部 哲

①南会津町（旧伊南村）です。下郷町に移住した二十八年目になりました。

②二十一年ぶりの下郷中事務室の勤務です。

財務担当として、教育環境の充実のために頑張りたいと思います。

③「歩歩は道場」心がけしだい、どんな場所でも自分を高める道場になる。

④学校は子供たちがいるので楽しそう！と思ったからです。



貴志 生出

生出貴志と申します。下郷中は二度目の勤務になります。

①白河市（生徒には第二の故郷と言つてます）

②英語
③「偉くなくても正しく生きる」「愛とは相手を信じ、待ち、許すこと」



宮島 康之

④テレビや映画の影響を多大に受け、熱い教師に憧れたから。さらに得意な教科が英語しかなく、英語を使つて仕事をしたかつたからです。教師になれたこと、下郷中で働ける自分の人生に一片の悔いなしです。

①会津若松市

②数学

③「臨機応変！」

④中学生のときに、「学校の先生に向いている。」と言われたのがきっかけだと思えます。昨年、その先生に再会し、そのエピソードを話したところ「覚えていない。」と言われてしまいました。知らないうちに、生徒の人生を左右する一言を話す教員という職業の責任の重さを感じた次第です。



五十嵐 美恵子

①流海
②支援員
③初心忘れるべからず
④子どもたちの笑顔のために「一杯がはんばつていききたい」と思っています。よろしくお願ひいたします。



百合 我妻

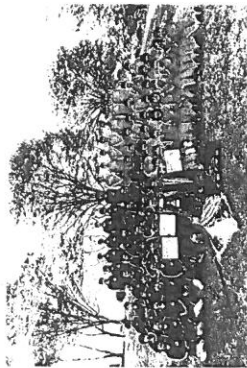
①白河（下中卒）

②支援員

③旅行錯誤

④過去30年間で3度目の勤務となります。子ども達と笑つて過ごせる学校が大好きです。何よりも若い子といると自分も若返るような気がします。

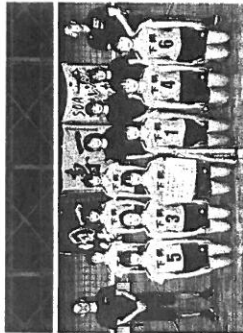
各部活動より



特設陸上部は、郡大会総合優勝を目指して、朝練や放課後練習に熱心に取り組んできました。毎日、朝早くから食事を作ってくれたり、車で送ってくれたり、僕たちのために懸命にサポートしてくれたこと、本当に感謝しています。家族の方々の支えがあり、先生方の熱心な指導があったおかげで、郡大会では、十七年ぶりの男女総合優勝という結果を残すことができました。これからも様々な行事で、「チーム下中」としてがんばっていきます。

特設陸上部

部長 要海



バレーボール部

部長 大竹 雄奈

私たちが今まで部活をやってきたのは、指導してくださった先生と家族のおかげです。毎日の部活で私たちを全会優勝させるためにたくさん指導してくださった先生たち。練習や練習試合、大会の送迎。お弁当、応援をしてくださった家族。本当に感謝しています。残念ながら、全大会優勝も県大会出場もできませんでしたが、ここまでバレーができて幸せでした。こんなにも私たちを支えてくださったことがとうとうありました。下郷中学校のバレー部でよかったです。



バスケットボール部

部長 星 幸晴

バス部を支えてくださった家族の皆さん、先生方、今までありがとうございました。個性豊かな十四人の三年生と共に楽しい三年間を過ごすことができました。毎日、卓先生や万崎先生、充明先生、寛先生に支えられて練習してきました。残念ながら、郡中体連は負けてしまいました。残る結果となつてしまいました。来年以降、一、二年生に力をつけて、田島に勝つてほしいです。最後に、今まで応援して頂きありがとうございました。



吹奏楽部

部長 渡部 総羽

いつも私たちの演奏を聞きに来てくださり、本当にありがとうございます。家族の皆さんのご支援は、私たちの活動の励みになっています。また、休日の送り迎えやお弁当の準備など、様々な面から支えてくださり、本当にありがとうございます。皆様から支えてくださるおかげで、私たちは日々の活動に集中して取り組むことが出来ます。この感謝の気持ちを伝えられるように一生懸命練習し、心をこめて、悔いの残らない演奏が出来るように頑張りたいと思いますので、これからもよろしくお願いします。

- ①新潟県上越市
②理科
③為るようになる
④教師を選んだことは偶然です。ただ、自分が今まで生きてきた中でため込んだ知識と経験、感じたことや考えたことがたくさんあります。

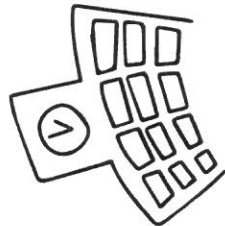


水科 努

- ①南相馬市です。野馬追の祭場があります。
②給食全般を担当させていただけます。
③仕事で悩んだときは「なるようになる」と考えて、よくよくしないようにしています。
④福島県は肥満傾向児の割合が多いので、少しでもお役にたてればと思います。栄養教諭になりました。



高木 晴子



- ①南会津町（今は）
②養護教諭
③「健康第一」
④自分の小中学校には、保健の先生がいなかったのので、「じゃあ私が」と思いました！



小野 美喜

す。あの時はあれをしてよかったという感動もあれなかったという後悔もあります。それらの積み重ねで、出てくる自分という存在を、教師という職業を通じて生徒に伝えることに、大きな生き甲斐を持ててから、私はこの仕事を続けています。

学校の職員



サッカー部

部長 佐藤 幹大

ぼくは、この三年間すく楽しい思い出がたくさんできました。一年生の入りたての頃はなにも分からず怒られては少し慣れてきて後輩に指示もでき、先輩のサポートもできるようになりました。三年生になり部長になりましたがみんなをまとめられない時もありました。そんな時には、他の三年生がサポートしてくれました。一緒に活動してきた部員やいつもいろいろな場面で支えてくれた保護者の皆さんには本当に感謝しています。三年間、本当にありがとうございました。



卓球部

部長 小椋 理央

まず、三年間支えてくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。私一人一人が良きプレイをできたのも朝早くからのお弁当作りや送迎や応援などがあつたからこそだと思います。郡中体連ではまさかの進優勝で、目標としていた優勝にはあと一步届かず、とても悔しい思いをしました。けれど、一人一人はとても良いプレイができていたので良かったと思います。最後に今まで卓球を通してお世話になった先生方、先輩、後輩、家族、本当にありがとうございました。

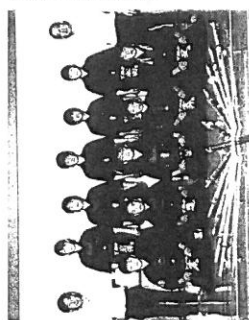


剣道部

部長 星 礼

部員と先生、いままでありがとうございました。私が部長になり約一年経ちました。最初のころは問題が多くあり先生と一緒に解決していききました。顧問の先生に今とても感謝しています。ありがとうございました。

一・二年生へ、約一年間お世話になりました。私も部長の立場で精一杯やってきましたが、少し頼りなかつた事を反省しています。それでもしっかりと私に付いて来てくれて、ありがとうございました。そのおかげで楽しく部活を続けられました。



柔道部

部長 小山 翔

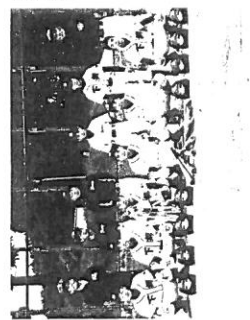
今までの送り迎えなどの準備、ありがとうございました。柔道部は五人という人数の少ない中、スバ少などを通して練習してきました。僕は二年生から部長という立場になりました。大変なこともありましたが、僕は県大会出場権を逃がしてしまいました。しかし、県大会に出る後輩たちがしっかりと活動が続けられるようにサポートしていきたいと思っています。保護者の皆さんこれからもよろしく願いします。



野球部

部長 齋藤 夏輝

僕たち野球部は、十人という少ない人数のなか、「野球を通して努力、感謝」の言葉を学ぶ。「南会津を勝ち抜き、全会津を制覇し、県大会へ行く」を目標に、今まで練習してきました。中体連では、全会津進優勝で負けてしまいました。目標を達成できませんでしたが、準決勝まで勝ち上がったため、ジャイアンツカップの県大会に出場できることになりました。ここまでこれたのも、保護者の皆さんの協力があったおかげだと思います。今まで支えてくださり、本当にありがとうございました。



編集後記

令和最初の PTA 会報はいかがでしたでしょうか？

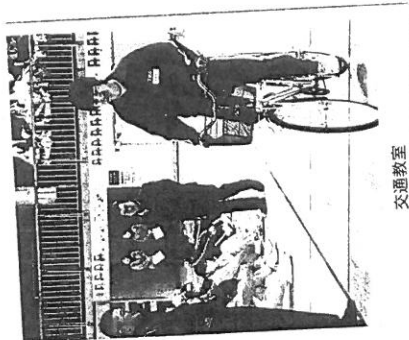
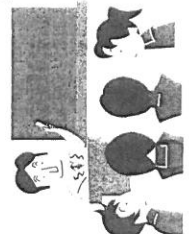
新学期を迎え、新たな下郷中がスタートし、早いもので三か月が過ぎました。

今学期は陸上競技大会での十七年ぶりの総合優勝には大変、各部活動でも様々な大会で輝かしい成績を収め、下郷中の素晴らしい活躍を目にすることが出来ました。

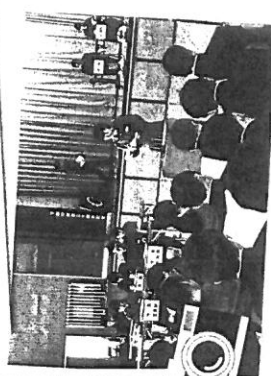
今回の会報では例年同様、校長先生をはじめ皆様より今年度の抱負等、また新しく赴任された先生方より自己紹介等をお伺いし掲載させて頂きました。

今回の発行にあたりお忙しいところ皆様にご協力頂きまして有難う御座いました。

広報委員一同厚く御礼申し上げます。



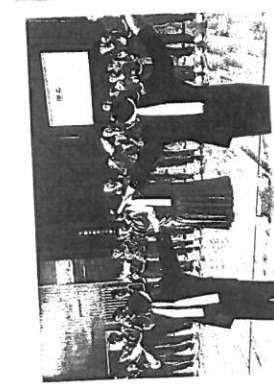
交通安全教室



生徒会総会



表彰



壮行会



奉仕作業



校内陸上大会